

環境基本計画の改定に向け、文京区の未来の環境都市像を考える！ 文京区民のみなさんとワークショップを開催いたしました

7月11日、中央大学後楽園キャンパスにおいて文京区民のみなさんと中央大学理工学部の学生によるワークショップが開催されました。今回のワークショップは、今年度末に予定される文京区の環境基本計画の改定に向け、文京区の未来の環境都市像を考えていこうというものでした。

ワークショップでは、文京区民と学生が4つに分かれ、グループワークを行いました。最初に文京区の魅力と課題を出し合い、それを踏まえて未来の環境都市像を考えました。魅力としては、伝通院や小石川後楽園といった歴史ある名所が多いことや、教育施設が豊富なこと、小石川植物園や六義園のようなまとまった緑地が存在することなどがあげられました。一方で課題として、屋敷林などの緑地が減少しているため全体として自然が減ってきている印象をうけることや、魅力のひとつである坂は高齢者の方々にとっては暮らしていく上で不便さにも繋がるといったことがあげられました。

最後の各グループの発表では、新しい環境基本計画に向けた、未来の環境都市像が提案されました。また、区民のみなさんから、学生と話し合う機会を得ることができて良かった、これからも学生と協力していきたいといった声をいただくことができました。環境デザイン研究室は、今後も区民のみなさんと一緒に、文京区をよりよい環境都市にすべく活動を続けていきたいと思っております。



A班 人がつなげる水と緑と歴史の回廊
～継承する人・守る人・育てる人～



B班 みどりと歴史ある町を目指して
～人と人がつながる町 文京区～



C班 住みつづきたい！持続可能な町
～歴史・文化・人～



D班 ずっとすみたい文京
すみつづきたい文京



A班 地域資源に着目し、協力してマップをつくりあげました



B班 区民と学生が一緒になり発表しました



C班 神田川の歴史について深く話し合いました



D班 区民と学生の両者から異なる視点の意見が出そろいました



ワークショップに参加した文京区民のみなさんと中央大学理工学部の学生